

市内産米の放射能の検査結果

| 予備調査 (収穫前) | 採取地 | セシウム134 | セシウム137 |
|-------------------|-----------------|---------|---------|
| 9月14日 公表 玄米 | 北部地区 (関本町福田) | 検出せず | 検出せず |
| | 中部地区 (磯原町豊田) | 検出せず | 検出せず |
| | 南部地区 (中郷町松井) | 検出せず | 検出せず |
| 本調査 (収穫後) | 関本町富士ヶ丘 | 検出せず | 検出せず |
| | 関本町関本上 | 検出せず | 検出せず |
| | 大津町北町 | 36ベクレル | 49ベクレル |
| | 関南町神岡下 | 検出せず | 検出せず |
| | 華川町車 | 検出せず | 検出せず |
| | 磯原町上相田 | 検出せず | 検出せず |
| | 中郷町石岡 | 検出せず | 検出せず |
| (参考) 白米 | 大津町北町 | 検出せず | 検出せず |

※「検出せず」とは、放射性物質が存在しない、または定量下限値20ベクレル/kg未満であることを示します。
 ※ 米に含まれる放射性セシウム(134、137)について、国が定めた米の暫定規制値は500ベクレル/kg。

市内産の米、すべて出荷可能に

放射能の検査結果を県が公表

北茨城市内産の米についての放射性物質の測定結果が出ました。すべての地区で国の決めた暫定基準値を下まわっており、今年産米の出荷や販売ができることになりました。詳細は左表のとおりで、収穫前の予備調査、収穫後の本調査ともに玄米についての分析結果です。大津町でわずかにセシウムが検出されましたが、

参考として白米で検査した結果では未検出となっています。9月市議会では、放射能測定器の購入や学校などの除染費用、また震災後の災害復旧費などが採択されました。主なものは以下のとおりです。

9月議、補正予算から



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
市議団ニュース

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

市立病院に手術室
市立病院に手術室が整備されます。予算は約1億3千万円です。

病院の正面から左、新館内売店の奥(160m)に、手術室と関連設備を配置します。完成予定は年度内で、震災後困難だった手術に対応できるようになります。

防災無線の導入

防災行政無線の工事契約が成立しました。総工費は約2億7千万円。メインは市庁舎、さらに消防本署、消防北分署に発信基地を置き、ほかに市内46ヶ所です。分団詰め所、学校敷地内、高台などが予定されています。

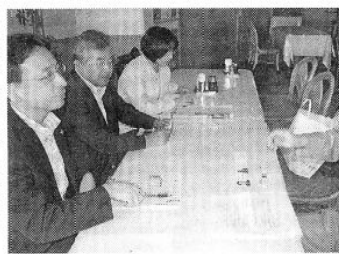
まず大津、平潟など海岸沿いを優先して今年度中に10ヶ所、そして来年の秋ごろまでには完了させたいとしています。戸別受信機については、消防分団長宅を中心に約30ヶ所設置予定です。

放送された内容について電話での問合せにも応えられるシステムにするとしています。さらに、電子メールでの配信サービスを検討中です。

早期復旧へ対策を

塩川衆院議員 被災地域を調査

茨城



村田氏(右側)と懇談する塩川議員(左端)ら。21日、茨城県北茨城市

日本共産党の塩川鉄也衆院議員は21日、東日本大震災で津波などの大きな被害が出た茨城県北茨城市と高萩市を訪ね、復旧状況を調査しました。県観光協会会長の村田實・五浦観光ホテル社長や北茨城市の豊田稔市長らと懇談するとともに、地元の農協や漁協、県内の被災者が住む仮設住宅などを回りました。村田氏は県の観光業に対する風評被害の影響について「観光客は5割減」と厳しい実態を紹介しました。

塩川議員は調査後、「いまだに被災者のくらし再建は遠い。風評被害への賠償のために国が仮払いを行うことや、漁港などのインフラ復旧のために使い勝手のよい交付金を創設するなど、早期復旧に向けた対策が必要だ」と話しました。党北茨城市議団の福田明、鈴木やす子の両市議が同行しました。

(日刊「赤旗」9/22より)

きびしい経営実態と企業立地計画

高萩・北茨城工業用水企業団の定例会から

9月23日、高萩・北茨城工業用水企業団の定例会が開かれました。平成22年度決算にもとづく資金不足比率の報告や決算の認定が議題となりました。

資金不足比率は、健全化基準の20%を超えると経営の見直しが迫られますが、同企業団のばあい、不足額が生じていないために、計算上は「なし」と

とされています。しかし、営業収益の約25%は両市からの補助金でまかなわれており、経営実態はきびしいものとなっています。同企業長でもある豊田稔北茨城市市長は「企業団の状況は依然としてきびしい状況だが、この間、改革してきた自負はある。今後、原発事故にもなっ

て福島県富岡町から木村

管工(従業員約100人)、純正化学(従業員約200人)が中郷工業団地に進出する。純正化学は2013年4月操業予定で、日量800トンの工水を使用する予定である」と述べました。同企業団は現在トン当たり25円で給水していますが、来年度から5円引き下げて20円で給水する予定です。その差額1042万円(収入減)は「経営努力でおぎなっています」としています。